

2023年度 卒業式・修了式 理事長挨拶

本日、卒業式の挙行に際し、学園を代表いたしまして一言ご挨拶を申し上げたいと存じます。コロナ感染の影響のある中、ご来賓の皆様にご列席を賜りました事心から御礼申し上げます。また、この卒業を待ちわびておられた保護者の皆様にも心からお祝い申し上げます。

世界はこの新型コロナ感染拡大に翻弄させられ経済も逼迫している矢先、ロシアがウクライナに侵攻し既に1年が経過しました。これに伴い多くを輸入に依存する日本はさらなる物価上昇に日々の暮らしが悩まされ先行きに不安を感じる今日です。

改めて、本日卒業を迎えられた皆さん、ご卒業おめでとう御座います。心からお祝い申し上げます。皆さんの学生生活は新型コロナウイルス感染の為に大半は自粛によるオンデマンド授業と、本来の学生生活とは異なり今一つ満足できなかったのではないかと不憫に感じております。しかし、世界を見れば内戦そしてクーデターや戦争によって自由な生活が出来ず、常に生命の危険にさらされている人々がおります。日本は戦後77年も経過し、直接戦争とのかかわりない日常の暮らしが出来る、大変に幸せな国民であると思います。そして、今日ここに卒業という日を迎えられたことに感謝いたしましょう。これまでの学生生活を振り返り、反省すべきことは反省しここまで成しえなかった事は今後につなげて、努力して頂きたいと思っております。卒業後の進路はもう決まっているのでしょうか。日本経済が低迷している状況が続く、皆さんのこれからの先行きを心配している一人です。

話は変わりますが、今、世間ではマイノリティやジェンダー問題、特に日本女性の地位や女性の活躍といった事が多く話題に上がりますが、本学の創立者二階堂トクヨ先生は大正時代に、人々の健康には体育指導を勧めなければとの熱意とリーダーシップを発揮し、女性でありながら渾身の力を振り絞り本学の創立を成し遂げました。そして、昨年100年目を迎えた訳です。学園はその記念事業として、現在、地下2階地上7階の立派な建設を行っております。既に鉄骨の骨組みが見えており、完成は本年9月頃の見込みであります。この新棟には700席のホールをはじめ総合的機能を網羅した体育施設と研究室、そして学生がくつろげるスチューデント・コモンズも準備されます。完成したのちは、学生は勿論の事卒業生や地域住民にも活用して頂く事を念頭に計画致しました。在

学中は使用が叶いませんでしたが、卒業後は是非ご活用いただき在学生との交流も図って頂きたいと考えております。

この建設に当たっては教職員をはじめ全国の卒業生からのご寄付が寄せられました。完成の暁にはさらに松徳会からは高額な緞帳がホールに寄贈されることになっております。この場を借りまして御礼を申し上げたいと存じます。

さて、卒業しますと学生生活のようには行きません。世間の荒波にもまれる事が多くなるでしょう。しかし、これからは大人として自立し、社会人としての知識・教養・判断力を身につけ、地に足をつけて進んで行かなければなりません。最近の情報からは詐欺・窃盗・殺人、さらにはネット社会における犯罪も多く、日本の治安が凶悪になったことを嘆いております。卒業生の皆さんにおかれましては、くれぐれも日々の安全に気を付けられてお過ごしください。そして、どうか胸を張って、本学の卒業生であることに自信と誇りを持ち、女性という枠に捕らわれず志を高く持ち、新しいステージでご活躍ください。

結びに当たりまして、これまで学生の就学をお支え頂いた保護者の皆様、教職員の皆様に心から感謝いたします。そして卒業生の皆様の将来が健康で明るく、充実したものになる事を願って挨拶と致します。

2023年3月15日

学校法人二階堂学園

理事長 石崎 朔子